令和４年度　第１学期始業式式辞

令和４年４月８日

生徒の皆さん、おはようございます。４月１日付けで校長として着任いたしました石井 和男です。２年生の皆さん、初めまして。３年生の皆さん、１年ぶりの再会です。覚えていますか？３年生の皆さんが１年生の時、教頭として三郷北高校に在職していました。

縁あって、再び三郷北高校に勤務できることを大変うれしく思っています。４年前に、体育館ステージの上で生徒の皆さんが大きな声で校歌を斉唱してくれたことを今でも覚えています。この時に受けた感動が私の三郷北高校生に対する評価でした。

さて、話を現代に戻しましょう。２０２２年２月２４日に何がありましたか？ロシアによるウクライナ軍事侵攻が開始され、人工知能が戦争の道具として使用されました。人工知能の進歩が皆さんの人生にどのように係わってくるのでしょうか。人間がこれまでと同じ働き方では生き残ることができない時代へと変化をしています。これまで人間が担っていた職業が人工知能に取って代わると言われています。社会で求められる能力も変化していきます。今、皆さんが鍛えておくべき能力として、コミュニケーション能力、自己管理能力が挙げられています。

このような時代を生きる皆さんに３つのことをお願いします。

１つ目は、「三郷北高校生として、自信と誇りを持つ」ことです。自信とは、皆さんが、自分自身の才能や能力を信じて、自発的に行動し、「自分でも出来た」という経験をすることです。この積み重ねにより、周りの人から信頼されたり、評価されることによって、心の中に誇りが芽生えてきます。今、社会は人工知能の進歩、超高齢化社会等、これまでにない急速な変化を遂げています。

このような時代の中、逞しく生き抜くためには、受け身の姿勢ではなく、自らの意志で行動し、自分自身に「自信が持てる」人間へと成長することが必要です。

２つ目は、一生の友だちは高校時代に決まると言われますが、「人との出会いを大切にしてください」。新学期は新しい友だちや後輩、先生方との新しい出会いがあります。様々な人との出会いは、自らを成長させ、人生を豊かなものとしてくれます。

しかし、人には自分と違う考え方を否定したり、受け入れないことがあります。これがエスカレートすると「いじめ」の原因となります。相手をリスペクトし、お互いの考えをしっかり伝え合うことがコミュニケーション能力です。友だちをたくさん作り、良好な人間関係を築いてください。

３つ目は、「勉強と部活動の両立」です。三郷北高校の殆どの生徒が形の上では勉強と部活動を両立して卒業していきます。「赤点でなければいい」という目標設定なら、クリアすることは簡単です。自己管理能力とは、目標達成に向けて自分自身は何をどう行っていくかという能力です。目標を高く設定し、高い次元での「勉強と部活動の両立」が自己管理能力を高めることになります。

人間関係で困ったことや悩み事があったり、勉強や部活動で疑問に思うことがあったらいつでも校長室に来てください。校長室を生徒の皆さんに開放します。

最後に、「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。何事もはじめに計画を立てるのが大切であるという意味です。初めが肝心とも言います。新学期の始まりです。今年１年の目標を立ててください。以上。